

# 奈良県感染症情報

平成 26 年 第 6 週( 2 月 3 日～ 2 月 9 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## ！！ インフルエンザ注意報発令中 ！！

### 今週の概要

- 小児科外来情報
- 病原体(ウイルス)検出情報(1月)
- 気になる話題～感染性胃腸炎の流行状況と消毒法について～

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	24.72	(25.17)	↑	↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	5.79	(7.65)	→	→	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.00	(0.82)	↗	↑	→	→
4	水痘	0.56	(0.65)	↓	→	↓	↓
5	RS ウイルス感染症	0.38	(0.50)	↓	→	↓	↓

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

### ◆ 県内概況 ◆

#### ◆インフルエンザ注意報が発令中です。

県内全域で、注意報基準値(定点当たり10)を超えています。

葛城保健所管内では警報基準値(定点当たり30)を超えています。

- 第6週におけるインフルエンザの定点当たり報告数は県全体で24.72と前週(25.17)より減少しました。葛城保健所管内でも前週より減少しましたが、警報は継続中です。もうしばらくは流行の拡大防止のため、咳エチケットや外出後の手洗い・うがいの徹底、適度な湿度の保持など感染予防に努めましょう。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

外来患者数は2月に入っても例年よりは少ないように思える。インフルエンザは先々週から先週にかけてが奈良市ではピークであったようで、先週後半には減少に転じ、A型からB型が主流になってきている。このままだと流行は小さ目か? 保育園児を中心に溶連菌咽頭炎の流行が続いている。インフルエンザが減少すると、再び感染性胃腸炎が増えだした。ロタウイルスは未だのようです。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。但しインフルエンザ一色という状況でなく例年に比べると多くない。インフルエンザはA型が主で、B型も混在。A型治癒直後にB型に罹患例や、AとBが同時に陽性判定になった例もあった。A型の中には発熱が持続しタミフル耐性と思われる例もある。B型では嘔吐がありノロと思っている家族や、37度程度で陽性の例もあり感染拡大に留意が必要である。感染性胃腸炎はやや減少。その他高熱の感冒や扁桃腺炎があるが、登録疾患は少ない。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザの流行が続いています。A型が多数を占めていますが、市内D地区やM小学校ではB型が流行しています。発熱再燃例や咳嗽遷延例では肺炎等の合併がみられます。また、入院中で基礎疾患のある94歳女性がインフルエンザ罹患中に死亡、高齢者や乳児では注意が必要です。

## ❖ 病原体(ウイルス)検出情報(1月) ❖

\*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体		北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ノロ	GⅡ	4	5	7		感染性胃腸炎(16)
RS		1	9	1		RSウイルス感染症疑(6) 気管支炎(2)、細気管支炎(3)
エコー	11		2			感染性胃腸炎(2)
エコー	30			1		感染性胃腸炎(1)
アデノ	1	1				感染性胃腸炎(1)
アデノ	2			1		感染性胃腸炎(1)
アデノ	3	1		1		咽頭結膜熱(2)
インフルエンザ	AH3	5				インフルエンザ(5)
インフルエンザ	AH1pdm	4	5	4		インフルエンザ(13)
インフルエンザ	B	1				インフルエンザ(1)



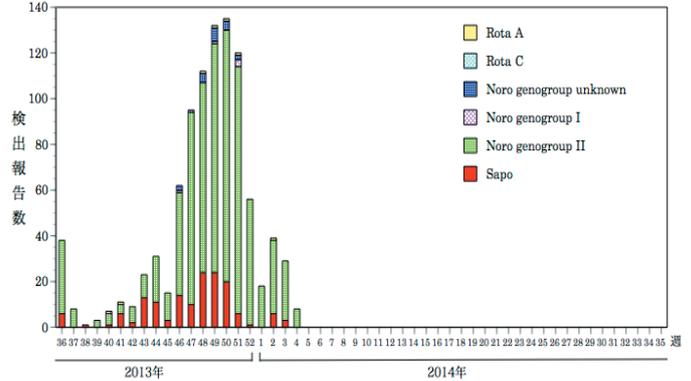
# 感染性胃腸炎の流行状況と消毒法について

## 全国の感染性胃腸炎の流行状況

国立感染症研究所は、例年12月中頃にピークが見られる感染性胃腸炎(原因ウイルスとしてノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス)について、今シーズンのウイルス検出数を報告しています。

2013年第36週(9/2)から2014年第4週(1/26)の間に全国の感染性胃腸炎患者から検出されたウイルスは、頻度の高い順にノロウイルス(83%)、サポウイルス(16%)、ロタウイルス(0.6%)で、中でも圧倒的なものがノロウイルスGIIと呼ばれるウイルスです。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2013/14シーズン  
(病原微生物検出情報：2014年1月30日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

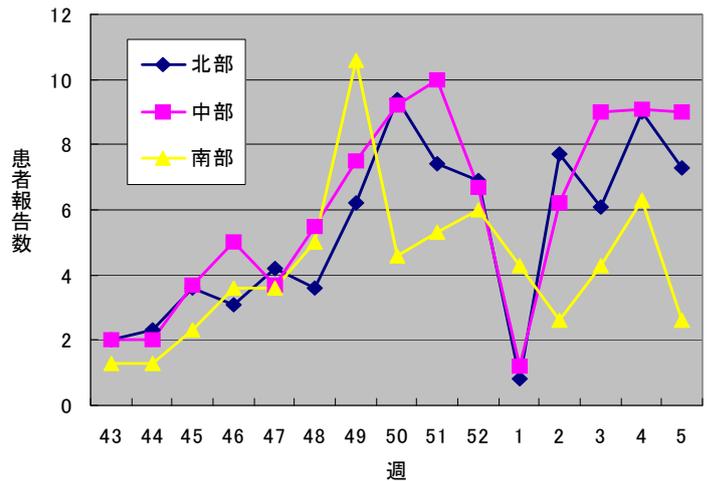


## 奈良県の流行状況

県内の34定点医療機関あたりの患者報告数の推移を表しますと、北部、中部、南部ともに11月(第45週)に入り急激な増加がみられ、北部、中部では第50-51週(12/9-16)がピークであったと思われ、いずれも未だ高いレベルを維持しています。一方、南部では第49週の10.0人を除けば、全体的に緩やかな増加で第5週には2.6人と昨年の45週程度までの減少がみられています。

これまでの幼稚園、小中学校、養護老人施設などの集団感染の原因ウイルス検査では、13施設がノロウイルス(GII/2,3,4,5,6,14,17、GI/6)、1施設がサポウイルスでした。

今後も感染性胃腸炎の流行が維持される可能性があります。手洗いの徹底や糞便・汚物の適切な処理には注意が必要です。



## ノロウイルスの消毒法

- このウイルスに効果のある抗ウイルス剤、ワクチンはありません。
- 食事前やトイレの後には、**石鹼**を使ってしっかり手を洗ってください。
- ウイルスは環境中でも安定なので汚染された水や食物を介しても感染します。
- 下痢便、嘔吐物への直接消毒には、市販の**塩素系漂白剤**(キッチンハイターなどの次亜塩素酸ナトリウム)なら**50倍(約1000ppm)**に水道水で薄めて**10分程度**浸すと有効です。**処理には必ず手袋、マスクを着用**することです。**\*1000ppmは0.1%**です。
- トイレの便座などの消毒は、**250倍(約200ppm)**に薄め、スプレーに入れれば便利です。床や取っ手などは、消毒後に布などでふき取ってください。
- 調理器具、衣類、タオルなどは**熱湯(85度以上)**で**1分以上**の加熱が有効です。



(感染症情報センター、保健研究センター)

◆ 定点把握感染症報告状況 ◆

平成 26 年 第 6 週 2 月 3 日 ~ 9 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	3	3		
インフルエンザ	1335 (24.72)	286 (26.00)	367 (22.94)	179 (16.27)	379 (34.45)	56 (28.00)	68 (22.67)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	13 (0.38)	2 (0.29)	4 (0.40)		3 (0.43)		4 (2.00)	
咽頭結膜熱	12 (0.35)		4 (0.40)		7 (1.00)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	34 (1.00)	18 (2.57)	7 (0.70)	4 (0.57)	4 (0.57)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	197 (5.79)	46 (6.57)	69 (6.90)	34 (4.86)	40 (5.71)	4 (4.00)	4 (2.00)	
水痘	19 (0.56)	9 (1.29)	5 (0.50)	2 (0.29)	3 (0.43)			
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	5 (0.15)	1 (0.14)	1 (0.10)	2 (0.29)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	4 (0.12)	2 (0.29)	1 (0.10)	1 (0.14)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	3 (0.33)	1 (1.00)	2 (0.67)				-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎							-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							-	

◆ 全数把握感染症報告状況 ◆ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 6件(郡山 4件、桜井 2件)
3類感染症	腸チフス 1件(桜井 1件)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢 1件(葛城 1件)

◆ 第 6 週のトピックス ◆

◆ 麻しん・風しんの第2期定期予防接種実施状況について (厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/hashika.html#h24>

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	3	5	33	34	18	38	28	48	52	47	50	108	23	28	33	48	32	17	10	5	660	2334
	女	2	5	27	26	31	22	31	51	41	48	29	129	22	32	51	48	34	24	13	9	675	2396
RSウイルス感染症	男	2	2	3	1	1																9	62
	女		1	2	1	1																4	57
咽頭結膜熱	男				2	3	1															6	25
	女			3	2	3		1														6	28
A群溶連菌咽頭炎	男				5	3	2	1	2	1	1	1			1							17	73
	女				2	3	1	1	2	3					4							17	77
感染性胃腸炎	男	4	9	10	12	7	4	4	9	1	5	11	2	16								94	655
	女	7	16	7	5	6	9	7	3	5	3	11	4	20								103	620
水痘	男		2	2	2	2	2	3														11	82
	女		1	1	3	3																8	78
手足口病	男																						3
	女																						
伝染性紅斑	男																						3
	女																						
突発性発しん	男		3	1																		4	21
	女			1																		1	15
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						
流行性耳下腺炎	男				1	1																2	7
	女								1		1											2	8
急性出血性結膜炎	男																						
	女																					1	12
流行性角結膜炎	男							1														2	9
	女												1										
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						2
	女																						1

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

